

千厩川広域河川改修事業 再評価関係資料

- 1 大規模公共事業 再評価の概要
- 2 大規模公共事業 再評価調書 等

岩手県 県土整備部

大規模公共事業再評価調書の概要

せんまやがわ 〔千厩川（中流）広域河川改修事業〕

担当部課：県土整備部河川課

1 事業概要（河川名：一級河川北上川水系千厩川、 所在市町村：一関市）

- 事業目的：事業区間は流下断面が狭小であり、過去に家屋等の浸水被害が発生している状況であることから、本事業により河道を拡幅することにより、沿川の浸水被害の軽減を図り、安全で安心できる地域づくりに寄与するものである。
- 事業内容：延長 L=2,130m、築堤護岸 L=4,656m、掘削 V=168,600m³、橋梁 1 式
- 事業期間：S43 年度～R22 年度（前回評価時：S43 年度～R7 年度）
- 総事業費：7,047.8 百万円（R5 年度までの投資額 4,024.5 百万円、進捗率 57.1%）

2 事業の進捗状況等

- 事業区間 2.13km のうち、事業区間下流端から白山橋までの区間は、平成 22 年度までに河道掘削、護岸工等の整備を実施し治水安全度が向上している。現在は白山橋から上流区間において、家屋移転、河道拡幅を進めている状況である。
- 当事業区間の目標治水安全度は 1/30（30 年に 1 度程度の確率で発生すると想定されている降雨に対応）としているが、白山橋より上流区間については、当地域の土地利用状況やまちづくりへの影響等を総合的に勘案し、当面確保する治水安全度を、近年最大の被災流量である平成 14 年 7 月台風第 6 号による洪水と同規模として河川改修を実施することとしている。

3 社会経済情勢等の変化

- 本県では、令和 4 年 8 月の馬淵川（一戸町）や、令和元年 10 月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成 28 年 8 月の小本川（岩泉町）、平成 25 年 7 月の砂鉄川（一関市）、8 月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）など、近年大規模な浸水被害が各地で発生しており、治水対策事業に対する県民の関心は依然として高く、効率的・効果的な事業の推進を図る必要がある。
- 当事業区間は、近年では、平成 14 年に洪水被害を受けているほか、沿川は住宅地や工場等の資産の集積が著しいことから、地域住民の治水事業に対する関心も非常に高く、一関市より、当該河川の早期改修の要望を受けている。
- 白山橋より上流については、石垣や樹木等により良好な景観が形成されている区間であることから、工事着手前に検討会に諮り、これらの既存の景観と調和するよう、護岸に石材を選定することとしている。また、石積護岸とすることにより、生物の生息環境の保全・創出が期待できる。
- 事業実施に当たっては、現地での環境調査結果に基づき、公共事業等に係る希少野生動植物等保護検討会に諮り、有識者等の意見を伺いながら進めることとしている。
- ソフト施策として、県では令和元年度に危機管理型水位計、令和 2 年度に簡易型河川監視カメラを整備し、ホームページで公開しているほか、令和 2 年 4 月に千厩川を水位周知河川に指定し、一定の水位を超えた際は水防管理者等に河川水位を通知し、必要に応じて報道機関の協力を求めて一般に周知するなどの対策を講じている。また、令和 2 年 3 月に千厩川の想定最大規模の浸水想定区域図をホームページで公開し、地域住民の円滑な避難を促している。

4 コスト縮減対策及び代替案

- 河道掘削で発生した土砂を有効活用し、近傍のほ場整備事業に流用することにより、残土運搬等に係るコスト縮減を図っている。
- 治水代替案としては、遊水地、ダム建設、放水路との組合せによる手法が考えられるが、流域の地形、土地利用状況、経済性等を総合的に判断した結果、河川改修による治水対策が妥当と判断している。

5 総合評価

- 「事業の進捗状況等」については、事業の進捗を阻害する要因はあるものの一定の期間を要することにより解決できる見込みであること、及び変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではないことから、大項目評価を【BB】としている。
- 「社会経済情勢等」の変化については、前回評価時から大きな変化はないことから、大項目評価を【AA】としている。
- 以上のことから総合評価は「事業継続」と評価したものである。

大規模公共事業 再評価調査

事業名	広域河川改修事業		補助	単独	担当部課名	県土整備部河川課		
路線名等	一級河川北上川水系	せんまやがわ 千厩川	地区名	せんまやがわちゅうりゅう 千厩川中流		市町村	一関市	
事業概要	〔事業根拠法令等：河川法第10条〕							
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 本事業区間は、一級河川千厩川のうち一関市千厩町の中心市街地を流れる区間である。当該区間は家屋や資産が集中しているが、流下断面が狭小で流下能力が低く、洪水氾濫が発生した際に甚大な被害を受けている。特に、平成14年7月に発生した台風第6号による洪水においては、床上55戸、床下87戸の家屋浸水被害が発生していることから、早急な治水対策が必要である。 ○整備によって得られる効果 河川改修により築堤、河道掘削を行い、当該区間の治水安全度の向上を図ることにより、当該区間の浸水被害を軽減し、安全で安心できる地域づくりに寄与する。							
	(2) 事業内容 計画延長 L=2,130m、築堤護岸 L=4,656m、掘削V=168,600m ³ 、橋梁1式							
	(3) 整備目標等 治水安全度：1/30〔治水基準点：東小田橋〕（H14.7台風第6号洪水対応）							
事業着手	S43年度		事業計画期	S43 ~ R22 R4 H23		用地着手	S43年度 工事着手 S43年度	
事業費	当初計画総事業費 (S43年)	前回再評価時総事業費 (H30年)	今回再評価時総事業費 (R5年)A	事業費の状況 [百万円]				進捗率 F=E/A
	(うち用地費)	(うち用地費)	(うち用地費)	S43年~ B R3年	C R4	D R5	投資事業費 E=B+C+D	
	984.0 (467.9)	4,160.1 (2,133.6)	7,047.8 (2,133.6)	3,909.5 (1,813.9)	92.0 (7.0)	23.0 (7.0)	4,024.5 (1,827.9)	
財源							57.1%	
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況							
	ア 整備効果の発現状況 事業区間下流端から中流部の白山橋までは平成22年度までに河道掘削、護岸工等の整備を実施し概成している。現在は白山橋から上流において、平成14年7月の台風第6号洪水と同規模の出水に対する家屋等の浸水被害の解消を図ることとし、家屋移転、河道拡幅などを進めている状況である。							
	イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ①理由：工事区間において硬岩の出現により河道掘削に要する時間と費用が増加している。 ②解決の見通し：掘削工法の変更により掘削を進めることは可能である。 ③解決に至るまでの対応及び期間：事業の進捗が図られるまでの間、リアルタイムの水位情報の公開、ホットラインによる市町村への水位情報の伝達のほか、想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を公表するなど、ソフト施策による取組を図っている。							
	○中項目評価は、硬岩の出現による日当たり施工量の低下や費用の増大など、事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間を要することにより解決できる見込みであることから「b」とした。 中項目評価 a . b . c							
(2) 事業計画の変更の有無及び内容								
①事業期間の延伸 (S43~R7 → S43~R22)								
②事業費 (4,160.1百万円 → 7,047.8百万円)								
		変更前		変更後				
掘削	168,600m ³	97,070千円	168,600m ³	2,172,170千円				
護岸等	1式	3,863,030千円	1式	4,635,630千円				
橋梁	1式	200,000千円	1式	240,000千円				
合計	4,160,100千円		7,047,800千円					
○中項目評価は、変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間及び事業費に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。 中項目評価 a . b . c								
○中項目評価が、「b」、「b」であることから、大項目評価は「BB」とした。 評 価 AA . A . BB . B . C								

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

・平成30年6、7月の集中豪雨や令和元年10月の台風第19号、令和2年7月の豪雨、令和3年7月、8月の豪雨、令和4年8月3日からの豪雨、令和4年9月の台風第14号、15号など、毎年、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けていることから、今後も着実にハード整備を進めるとともに、安全な避難等のための洪水情報等の提供の充実などソフト施策の充実を図り、災害時に避難が行われるよう住民の意識啓発に努めていく必要がある。

イ 本県内の状況

・近年、本県では、令和4年8月の馬淵川（一戸町）や、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の小本川（岩泉町）、平成25年7月の砂鉄川（一関市）、8月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）など、各地で大規模な浸水被害が発生しており、治水事業に対する関心度は依然として高く、効率的・効果的な事業の進捗に努める必要がある。

・県では、近年洪水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。

・河川改修などのハード整備を進めているとともに、住民の迅速かつ円滑な避難を促すため、ソフト施策として水位計や河川監視カメラを設置のうえ、ホームページやメール等により洪水情報を提供しているほか、洪水浸水想定区域図の作成、市町村への洪水ハザードマップの作成支援を行っている。

ウ 施工地域における状況

・当事業区間は、近年では、平成14年に洪水被害を受けているほか、沿川は住宅地や工場等の資産の集積が著しいことから、地域住民の治水事業に対する関心も非常に高く、一関市より、当該河川の早期改修の要望を受けている。ソフト施策として、県では令和元年度に危機管理型水位計、令和2年度に簡易型河川監視カメラを整備し、ホームページで公開しているほか、令和2年4月に千厩川を水位周知河川に指定し、一定の水位を超えた際は水防管理者等に河川水位を周知し、必要に応じて報道機関の協力を求めて一般に周知するなどの対策を講じている。また、令和2年3月に千厩川の想定最大規模の浸水想定区域をホームページで公開し、地域住民の円滑な避難を促している。

○中項目評価は、全国または本県において、河川改修事業のあり方についての議論や見直しの検討はないことから、「a」とした。

中項目評価 a . b . c

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点(A) (S43年度)	前回再評価時 評点(B) (H30年度)	今回再評価時 評点(B) (R5年度)	増減 (B)-(A)	備考
必要性	想定氾濫被害額	15	12 (14億円)	15 (301億円)	15 (211億円)	0	※
	防護人口	5	3 (0.3千人)	4 (0.6千人)	3 (0.4千人)	-1	
	公共施設・弱者施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	幼稚園 介護施設
	輸送施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	国道456号
重要性	総合計画上の位置付け	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
緊急性	過去10年間の 水害被害実績	5	1 (23百万円)	0 (0百万円)	0 (0百万円)	0	
	過去10年間の 被災回数	3	3 (5回)	1 (1回)	1 (1回)	0	H25
	他事業関連の有無	5	0 (無)	5 (有)	5 (有)	0	市道宮敷線 道路改良
	流下能力比	2	2 (50%未満)	1 (50%以上)	1 (50%以上)	0	
効率性	費用便益比(B/C)	40	40 (17.4)	40 (45.9)	40 (25.0)	0	※
熟度	地元の要望	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
	地元の協力	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
計		100	86	91	90	-1	(今回評価時/前回評価時) 99%

※ 治水経済調査マニュアル（案）（令和2年4月）に基づき算出した結果によるもの。

○ 費用便益分析（案）

費用便益分析手法：治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月 国土交通省河川局

(単位：百万円)

区 分		事業着手時 (基準年) 1968 (S43)	前回再評価時 (基準年) 2018 (H30)	今回再評価時 (基準年) 2023 (R5)	備考
費用項目	①建設費	97	10,684	17,326	※1
	②維持管理費	7	1,038	1,695	※1
	③総費用(C)①+②	104	11,722	19,021	
便益項目	④被害額の便益	1,798	537,765	474,852	※2
	⑤残存価値		12	39	※3
	⑥総便益(B)④+⑤	1,798	537,777	474,891	
費用便益比 (B/C) ⑥/③		17.4	45.9	25.0	

※1「建設費」及び「維持管理費」の増は、全体事業費の増と基準年の変更による現在価値化による。

※2「被害額の便益」の減は、治水経済調査マニュアル(案)（令和2年4月）に基づき算出した結果による。

※3【残存価値】の増は、整備期間の延長及び現在価値化による。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

本河川改修による宮敷橋の架け替えに合わせて市道宮敷線の道路改良を行う。

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が、前回再評価時の90%以上であることから「a」とした。

中項目評価 a . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 D
- ・希少野生動植物生息の有無 なし
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし
- ・その他特記事項

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 付議している

①主な助言内容

・事業実施にあたっては、希少野生動植物等保護検討会に諮り、有識者等の意見を取り入れて、必要に応じて現地確認や希少動植物等の対策を講じることとしているが、これまでの検討会等での意見や要望は出ていない。

②対応状況

・白山橋より上流については、石垣や樹木等により良好な景観が形成されている区間であることから、工事着手前に検討会に諮り、これらの既存の景観と調和するよう、護岸に石材を選定することとしている。また、石積護岸とすることにより、生物の生息環境の保全・創出が期待できる。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・景観等に配慮した護岸整備 約619,000千円

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎保全方向に沿った対応をしていることから、「a」とした。

中項目評価 a . b . c

○中項目評価が「a」「a」「a」であることから、大項目評価は「AA」とした。

評 価 AA A . B . C

社会
経済
情報
勢
等
の
変
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性

- 土砂については、近傍で実施中の経営体育成基盤整備事業(一関市千厩町奥玉地内)へ流用することによる運搬費及び処分費の低減を検討している。
- ※発生土を他事業へ流用することによる削減額 約12百万円 (残土運搬費及び敷均し作業費の削減)

(2) 代替案立案の可能性

①代替案として考えられる他の事業手法・工法の比較検討結果

- 遊水地・ダム建設、放水路等との組合せによる手法が考えられるが、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響、経済性を総合的に勘案し、河川改修による治水対策が妥当とした。

②今後における代替案立案の可能性

- 現時点で、技術革新や社会経済情勢の大きな変化がないことから、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価 (対応方針案)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業継続</div> ・ 要検討 ・ 中止 (事業継続、見直し継続、休止、中止)
-----------------	---

(事業名) 広域河川改修事業 (千厩川)

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資 事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
S43	R22	7,047.8	4,024.5	57.1%	BB	b	b	AA	a	a	a	90	25.0

○総合評価に係るコメント

・千厩川は市街地の中心部を貫流し、沿川の資産が集中、向上する一方、平成14年7月洪水をはじめとし、幾度となく家屋等の浸水被害が発生しており、地元からも早急な治水対策が望まれている状況から、引き続き治水安全度の向上を図る必要がある。

・「事業の進捗状況等」については、事業期間や事業費を変更するものの、事業計画に大幅な変更はなく、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。

・「社会経済情勢等の変化」については、「事業に関する社会経済情勢」、「評価指標」、「自然環境等の状況」に関して大きな変化はないところ。

・「事業に関する評価指標の推移」において、「必要性」の指標が減少しているが、過去に大規模な洪水被害を受けていること、地元の要望、協力があるなど熟度が高いことから、沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。

以上のことから、「事業継続」と評価したものである。

総合評価

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

事業名	広域河川改修事業		補助・単独	担当部課名	県土整備部河川課
路線名等	せんまやがわ 一級河川北上川水系千厩川	地区名	せんまやがわちゅうりゅう 千厩川中流	市町村	一関市
<p>1 現在までの事業の経緯等</p> <p>昭和43年度 小規模河川改修事業として事業着手、認可〔計画高水流量Q=400m³/s〕</p> <p>平成14年度 平成14年7月台風第6号洪水により家屋浸水被害</p> <p>平成15年度 千厩川筋宮敷地区河川整備計画（ワークショップ）の開催</p> <p>平成28年度 一級河川北上川水系両磐圏域河川整備計画策定</p> <p>2 事業を取り巻く社会経済情勢等の変化の具体的説明</p> <p>再評価調書に記載のとおり</p> <p>3 住民意見の状況とこれに対する対応</p> <p>千厩川(中流)広域河川改修事業については、一関市より毎年要望を受けているところ。</p> <p>○一関市からの要望内容</p> <p>要望項目:河川等の整備について</p> <p>・河川環境に配慮した千厩川の河川整備促進について</p> <p>【令和4年11月18日 要望内容】</p> <p>千厩地域の河川改修事業は昭和43年に着手されて以来、既に50年以上が経過しております。しかし、総延長2,130mのうち宮敷地区(計画延長800m)が未完成となっており、大雨の際には河川が氾濫する危険な状態にあり、地域住民は大きな不安を感じています。つきましては、今後短期間で改修工事が進められますよう十分な事業費の確保と推進体制の強化を図られるとともに、河川環境に配慮した河川整備を要望します。</p> <p>【要望に対する回答内容】</p> <p>宮敷地区については、平成24年度に事業着手しており、今年度は、用地補償のほか、四日町橋上流右岸の護岸工と市道宮敷線の付替工事を進めています。また、現況の石垣等の周辺環境に配慮して、護岸の材質を自然石とした河川整備を行っています。</p> <p>県としても、地元関係者の協力を得ながら事業推進に努めていきますが、事業推進には市の支援が欠かせない状況ですので、引き続きご協力をお願いします。</p>					

4 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月国土交通省

(単位:百万円)

区分	事業着手 (基準年) (S43)	前回再評価時 (基準年) (H30)	今回再評価時 (基準年) (R5)		
				残事業B/C	
費用項目	①建設費	97	10,684	17,326	2,038
	②維持管理費	7	1,038	1,695	230
	③総費用(C) ①+②	104	11,722	19,021	2,268
費用項目	④被害額減の便益	1,798	537,765	474,852	10,466
	⑤残存価値	0	12	39	190
	⑥総便益(B) ④+⑤	1,798	537,777	474,891	10,656
費用便益比(B/C) ⑥/⑦		17.4	45.9	25.0	4.7

- ① 建設費:施設整備に要する費用(河川改修費)を整備期間、評価期間で現在価値化して合計したものである。基準年以前の費用は、物価変動を考慮した実質価値に換算した後に現在価値化している。
- ② 維持管理費:毎年定常的に支出される除草等の費用で、完成した施設に要した事業費の0.5%を現在価値化して計上している。
- ④ 被害軽減の便益:施設整備によって想定される年平均被害軽減額を現在価値化して合計したものである。
- ⑤ 残存価値:評価対象期間終了時点における施設等の価値。構造物は価値を10%とし、構造物以外(堤防・用地など)は減価しないものとしている。

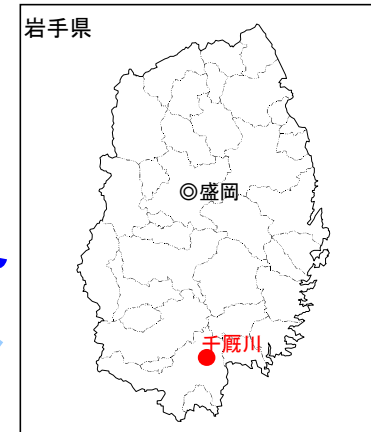
5 環境対策の具体的内容

再評価調書に記載のとおり

6 代替案(見直し案)の検討内容

再評価調書に記載のとおり

広域基幹河川改修事業 千厩川(中流)



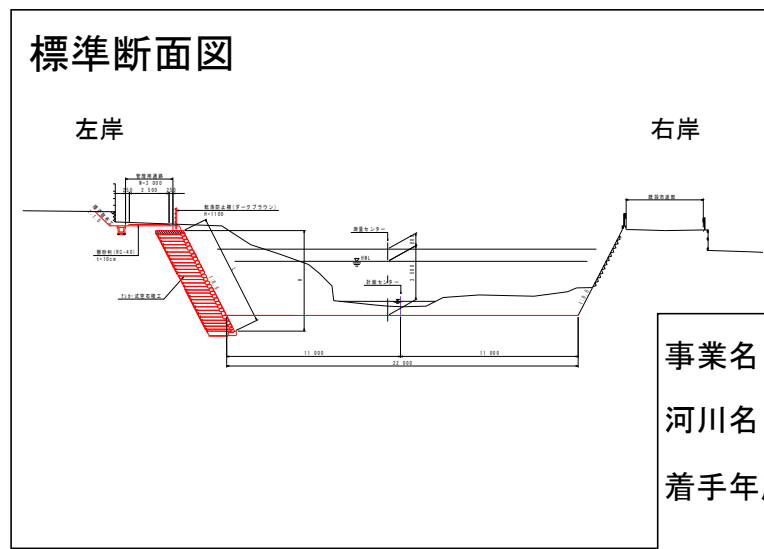
凡例 1

R4まで実施済み	— (黒)
R5年度実施予定	— (赤)
R6以降実施予定	— (緑)

凡例 2

浸水区域	■ (青格子)
被災年月	H14. 7
浸水家屋	床上55戸 床下87戸

①四日町橋下流の河道状況

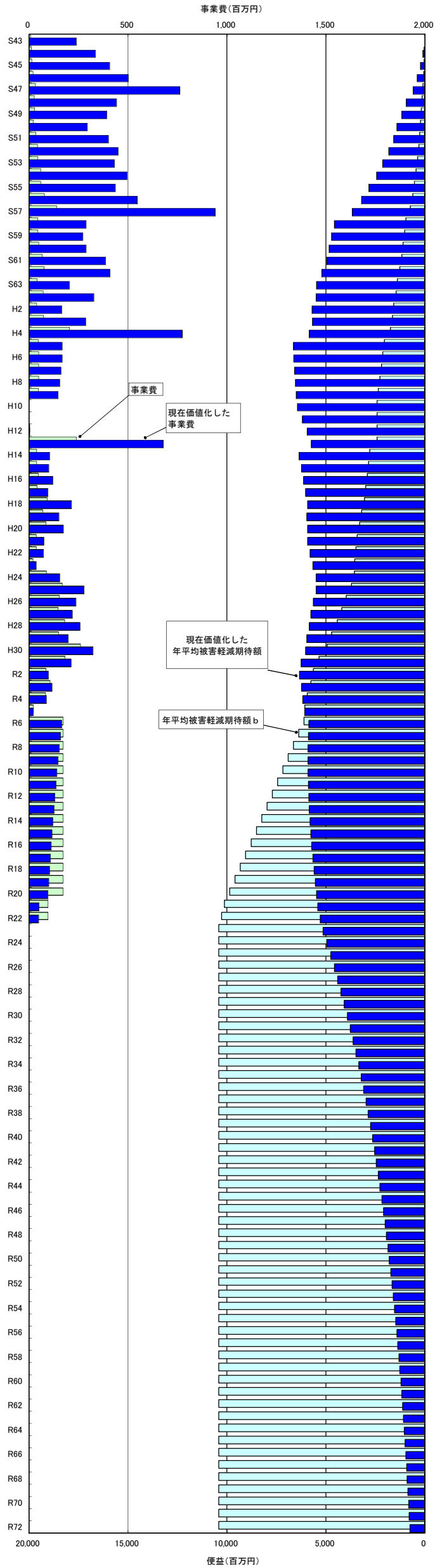


事業名 広域河川改修事業
 河川名 一級河川千厩川
 着手年度 昭和43年度

費用対効果計算書 (令和5年度評価 事業全体)

水系名: 北上川水系 河川名: 千蔵川中流 単位: 百万円

期間	年度t	便益		費用				維持管理費	
		年平均被害軽減期待額a	年便益	費用	現在価値	治水事業指数	フルコスト換算	費用	現在価値
-55	S43	0.0	0.0	6.7	239.8	26.4	412.1	0.0	0.0
-54	S44	10.5	87.1	10.6	335.6	28.5	381.8	0.0	1.1
-53	S45	26.9	215.3	14.4	407.1	30.8	353.2	0.1	2.4
-52	S46	49.4	379.6	19.2	500.8	32.1	338.9	0.2	4.1
-51	S47	79.3	586.1	32.7	761.7	34.5	315.4	0.3	5.9
-50	S48	130.2	925.2	25.0	443.2	43.6	249.5	0.4	7.4
-49	S49	169.1	1,155.4	27.9	393.2	52.7	206.5	0.5	7.7
-48	S50	212.5	1,396.0	22.1	294.9	53.6	203.0	0.7	9.1
-47	S51	246.9	1,559.8	33.6	402.2	57.5	189.2	0.8	9.5
-46	S52	299.3	1,818.0	41.3	450.8	60.6	179.5	1.0	10.5
-45	S53	363.6	2,123.9	44.2	431.0	65.2	166.9	1.2	11.4
-44	S54	432.4	2,428.8	57.7	496.4	71.0	153.2	1.4	12.0
-43	S55	522.2	2,820.2	57.7	436.1	77.7	140.0	1.7	12.7
-42	S56	612.0	3,177.9	76.9	547.2	79.4	137.0	2.0	14.0
-41	S57	731.7	3,653.4	139.4	941.7	80.4	135.3	2.4	15.9
-40	S58	948.7	4,554.5	44.2	288.0	80.2	135.7	3.0	19.9
-39	S59	1,017.5	4,697.1	44.2	272.8	81.4	133.7	3.3	20.2
-38	S60	1,086.3	4,821.9	48.1	288.3	80.5	135.2	3.5	20.9
-37	S61	1,161.1	4,955.8	67.3	386.2	80.9	134.5	3.7	21.4
-36	S62	1,265.9	5,195.1	75.9	409.0	82.9	131.2	4.1	21.9
-35	S63	1,384.1	5,461.7	40.4	203.4	85.2	127.7	4.4	22.4
-34	H1	1,446.9	5,490.1	71.1	327.1	89.7	121.3	4.6	21.4
-33	H2	1,557.6	5,682.5	38.8	165.3	93.3	116.6	5.0	21.3
-32	H3	1,618.0	5,676.1	72.0	287.2	95.7	113.7	5.2	20.7
-31	H4	1,730.1	5,836.0	203.7	774.8	96.5	112.7	5.6	21.1
-30	H5	2,047.3	6,640.1	45.5	166.8	96.2	113.1	6.6	24.1
-29	H6	2,118.1	6,605.6	47.4	166.9	96.3	113.0	6.8	24.0
-28	H7	2,191.8	6,572.7	47.4	161.0	96.0	113.3	7.0	23.9
-27	H8	2,265.6	6,532.5	47.4	155.5	95.6	113.8	7.3	23.9
-26	H9	2,339.3	6,485.8	46.9	147.4	96.1	113.2	7.5	23.6
-25	H10	2,412.4	6,431.1	0.0	0.0	94.1	115.6	7.7	23.9
-24	H11	2,412.4	6,183.8	0.0	0.0	93.1	116.9	7.7	23.2
-23	H12	2,412.4	5,945.9	1.1	3.3	92.9	117.1	7.7	22.4
-22	H13	2,412.4	5,721.4	238.5	678.7	90.6	120.1	7.8	22.1
-21	H14	2,785.4	6,347.3	37.6	104.2	89.4	121.7	8.9	24.8
-20	H15	2,843.9	6,231.3	37.6	100.2	89.4	121.7	9.1	24.4
-19	H16	2,902.3	6,114.8	46.9	120.0	89.7	121.3	9.3	23.8
-18	H17	2,975.4	6,027.7	39.4	96.4	90.2	120.6	9.6	23.4
-17	H18	3,036.8	5,915.4	92.4	214.7	91.2	119.3	9.8	22.7
-16	H19	3,180.6	5,957.3	68.9	151.7	92.6	117.5	10.2	22.5
-15	H20	3,287.9	5,921.3	84.5	173.6	95.4	114.0	10.6	21.7
-14	H21	3,419.5	5,921.4	36.6	74.7	92.4	117.7	11.0	22.4
-13	H22	3,476.5	5,788.6	37.0	72.5	92.5	117.6	11.2	21.9
-12	H23	3,534.0	5,658.1	19.3	35.5	94.8	114.8	11.4	20.9
-11	H24	3,564.2	5,486.9	87.5	155.1	94.5	115.1	11.4	20.3
-10	H25	3,700.4	5,477.5	166.9	278.6	96.5	112.7	11.9	19.8
-9	H26	3,960.2	5,636.7	152.9	237.5	99.7	109.1	12.7	19.8
-8	H27	4,198.2	5,745.6	147.4	219.5	100.0	108.8	13.5	20.1
-7	H28	4,427.7	5,826.5	180.7	257.1	100.6	108.2	14.2	20.2
-6	H29	4,708.9	5,958.3	148.2	198.3	102.9	105.7	15.1	20.2
-5	H30	4,939.7	6,009.9	260.6	323.9	106.5	102.2	15.9	19.7
-4	R1	5,345.4	6,253.4	181.2	211.9	108.8	100.0	17.2	20.1
-3	R2	5,627.4	6,330.1	86.0	96.7	108.8	100.0	18.1	20.3
-2	R3	5,761.2	6,231.4	106.8	115.5	108.8	100.0	18.5	20.0
-1	R4	5,927.5	6,164.6	84.3	87.6	108.8	100.0	19.0	19.8
0	R5	6,058.7	6,058.7	21.6	21.6	108.8	100.0	19.5	19.5
1	R6	6,092.2	5,857.9	172.4	165.8	108.8	0.0	19.6	18.8
2	R7	6,360.6	5,880.7	172.4	159.4	108.8	0.0	20.4	18.9
3	R8	6,629.0	5,893.2	172.4	153.3	108.8	0.0	21.3	18.9
4	R9	6,897.4	5,895.9	172.4	147.4	108.8	0.0	22.2	18.9
5	R10	7,165.8	5,889.7	172.4	141.7	108.8	0.0	23.0	18.9
6	R11	7,434.1	5,876.3	172.4	136.3	108.8	0.0	23.9	18.9
7	R12	7,702.5	5,853.3	172.4	131.0	108.8	0.0	24.7	18.8
8	R13	7,970.9	5,824.3	172.4	126.0	108.8	0.0	25.6	18.7
9	R14	8,239.3	5,788.8	172.4	121.1	108.8	0.0	26.5	18.6
10	R15	8,507.7	5,747.5	172.4	116.5	108.8	0.0	27.3	18.5
11	R16	8,776.1	5,700.8	172.4	112.0	108.8	0.0	28.2	18.3
12	R17	9,044.4	5,649.1	172.4	107.7	108.8	0.0	29.1	18.2
13	R18	9,312.8	5,593.0	172.4	103.5	108.8	0.0	29.9	18.0
14	R19	9,581.2	5,532.9	172.4	99.6	108.8	0.0	30.8	17.8
15	R20	9,849.6	5,469.1	172.4	95.7	108.8	0.0	31.6	17.6
16	R21	10,118.0	5,402.1	95.1	50.8	108.8	0.0	32.5	17.4
17	R22	10,266.1	5,270.3	95.0	48.8	108.8	0.0	33.0	16.9
18	R23	10,414.0	5,140.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	16.5
19	R24	10,414.0	4,942.9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	15.9
20	R25	10,414.0	4,752.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	15.3
21	R26	10,414.0	4,570.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	14.7
22	R27	10,414.0	4,394.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	14.1
23	R28	10,414.0	4,225.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	13.6
24	R29	10,414.0	4,062.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	13.1
25	R30	10,414.0	3,906.5	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	12.6
26	R31	10,414.0	3,756.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	12.1
27	R32	10,414.0	3,611.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	11.6
28	R33	10,414.0	3,472.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	11.2
29	R34	10,414.0	3,339.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	10.7
30	R35	10,414.0	3,210.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	10.3
31	R36	10,414.0	3,087.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	9.9
32	R37	10,414.0	2,968.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	9.5
33	R38	10,414.0	2,854.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	9.2
34	R39	10,414.0	2,744.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	8.8
35	R40	10,414.0	2,639.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	8.5
36	R41	10,414.0	2,537.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	8.2
37	R42	10,414.0	2,440.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	7.8
38	R43	10,414.0	2,346.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	7.5
39	R44	10,414.0	2,255.9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	7.3
40	R45	10,414.0	2,169.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	7.0
41	R46	10,414.0	2,085.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	6.7
42	R47	10,414.0	2,005.5	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	6.4
43	R48	10,414.0	1,928.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	6.2
44	R49	10,414.0	1,854.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	6.0
45	R50	10,414.0	1,782.9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	5.7
46	R51	10,414.0	1,714.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	5.5
47	R52	10,414.0	1,648.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	5.3
48	R53	10,414.0	1,585.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	5.1
49	R54	10,414.0	1,524.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.9
50	R55	10,414.0	1,465.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.7
51	R56	10,414.0	1,409.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.5
52	R57	10,414.0	1,354.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.4
53	R58	10,414.0	1,302.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.2
54	R59	10,414.0	1,252.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	4.0
55	R60	10,414.0	1,204.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.9
56	R61	10,414.0	1,158.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.7
57	R62	10,414.0	1,113.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.6
58	R63	10,414.0	1,070.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.4
59	R64	10,414.0	1,029.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.3
60	R65	10,414.0	990.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.2
61	R66	10,414.0	951.9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	3.1
62	R67	10,414.0	915.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.9
63	R68	10,414.0	880.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.8
64	R69	10,414.0	846.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.7
65	R70	10,414.0	813.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.6
66	R71	10,414.0	782.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.5
67	R72	10,414.0	752.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	2.4
合計		788,025	474,852	6,690	17,326		2,531	1,695	

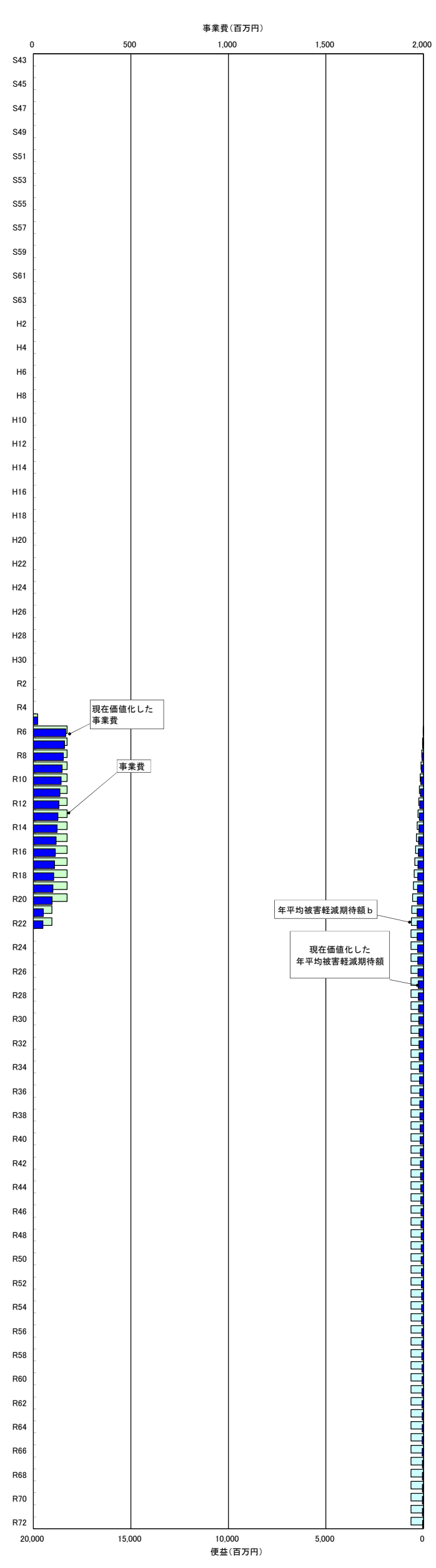


年平均被害軽減期待額 b	10,414 百万円	建設費	17,326 百万円	= (Q)
便益	474,8			

費用対効果計算書 (令和5年度評価 豫定)

水系名: 北上川水系 河川名: 千厩川中流 単位: 百万円

期間	年度 t	便益		費用					
		年平均被害軽減期待額 b	年便益	建設費				維持管理費	
				費用	現在価値	治水事業指数	F/Pへの換算		
整備期間 S	-55 S43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-54 S44	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-53 S45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-52 S46	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-51 S47	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-50 S48	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-49 S49	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-48 S50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-47 S51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-46 S52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-45 S53	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-44 S54	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-43 S55	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-42 S56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-41 S57	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-40 S58	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-39 S59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-38 S60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-37 S61	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-36 S62	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-35 S63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-34 H1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-33 H2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-32 H3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-31 H4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-30 H5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-29 H6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-28 H7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-27 H8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-26 H9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-25 H10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-24 H11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-23 H12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-22 H13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-21 H14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-20 H15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-19 H16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-18 H17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-17 H18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-16 H19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-15 H20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-14 H21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-13 H22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-12 H23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-11 H24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-10 H25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	-9 H26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-8 H27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-7 H28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-6 H29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-5 H30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-4 R1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-3 R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-2 R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
-1 R4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
0 R5	0.0	0.0	21.6	21.6	108.8	100.0	0.0	0.0	
1 R6	4.9	4.7	172.4	165.8	108.8	0.0	0.1	0.1	
2 R7	44.2	40.9	172.4	159.4	108.8	0.0	1.0	0.9	
3 R8	83.5	74.3	172.4	153.3	108.8	0.0	1.8	1.6	
4 R9	122.9	105.0	172.4	147.4	108.8	0.0	2.7	2.3	
5 R10	162.2	133.3	172.4	141.7	108.8	0.0	3.6	2.9	
6 R11	201.5	159.2	172.4	136.3	108.8	0.0	4.4	3.5	
7 R12	240.8	183.0	172.4	131.0	108.8	0.0	5.3	4.0	
8 R13	280.1	204.7	172.4	126.0	108.8	0.0	6.1	4.5	
9 R14	319.4	224.4	172.4	121.1	108.8	0.0	7.0	4.9	
10 R15	358.8	242.4	172.4	116.5	108.8	0.0	7.9	5.3	
11 R16	398.1	258.6	172.4	112.0	108.8	0.0	8.7	5.7	
12 R17	437.4	273.2	172.4	107.7	108.8	0.0	9.6	6.0	
13 R18	476.7	286.3	172.4	103.5	108.8	0.0	10.5	6.3	
14 R19	516.0	298.0	172.4	99.6	108.8	0.0	11.3	6.5	
15 R20	555.3	308.4	172.4	95.7	108.8	0.0	12.2	6.8	
16 R21	594.6	317.5	95.1	50.8	108.8	0.0	13.0	7.0	
17 R22	616.3	316.4	95.0	48.8	108.8	0.0	13.5	6.9	
18 R23	638.0	314.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	6.9	
19 R24	638.0	302.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	6.6	
20 R25	638.0	291.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	6.4	
21 R26	638.0	280.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	6.1	
22 R27	638.0	269.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	5.9	
23 R28	638.0	258.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	5.7	
24 R29	638.0	248.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	5.5	
25 R30	638.0	239.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	5.3	
26 R31	638.0	230.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	5.1	
27 R32	638.0	221.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.9	
28 R33	638.0	212.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.7	
29 R34	638.0	204.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.5	
30 R35	638.0	196.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.3	
31 R36	638.0	189.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.2	
32 R37	638.0	181.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	4.0	
33 R38	638.0	174.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.8	
34 R39	638.0	168.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.7	
35 R40	638.0	161.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.6	
36 R41	638.0	155.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.4	
37 R42	638.0	149.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.3	
38 R43	638.0	143.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.2	
39 R44	638.0	138.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.0	
40 R45	638.0	132.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.9	
41 R46	638.0	127.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.8	
42 R47	638.0	122.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.7	
43 R48	638.0	118.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.6	
44 R49	638.0	113.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.5	
45 R50	638.0	109.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.4	
46 R51	638.0	105.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.3	
47 R52	638.0	101.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.2	
48 R53	638.0	97.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.1	
49 R54	638.0	93.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.1	
50 R55	638.0	89.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.0	
51 R56	638.0	86.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.9	
52 R57	638.0	83.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.8	
53 R58	638.0	79.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.8	
54 R59	638.0	76.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.7	
55 R60	638.0	73.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.6	
56 R61	638.0	71.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.6	
57 R62	638.0	68.2	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.5	
58 R63	638.0	65.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.4	
59 R64	638.0	63.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.4	
60 R65	638.0	60.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.3	
61 R66	638.0	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.3	
62 R67	638.0	56.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.2	
63 R68	638.0	53.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.2	
64 R69	638.0	51.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.1	
65 R70	638.0	49.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.1	
66 R71	638.0	47.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.1	
67 R72	638.0	46.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.0	
合計		37,313	10,466	2,798	2,038		818	230	



年平均被害軽減期待額 b	638 百万円	建設費	2,038 百万円	= (O)
便益	10,466 百万円	維持管理費	230 百万円	= (P)
残存価値	190 百万円			= (S)
築堤・掘削	168 百万円	$= (\text{築堤} \cdot \text{掘削の総費用}) / (1+0.04)^{50} =$	2,420 / (1+0.04) ⁵⁰	
護岸等構造物	0 百万円	$= (\text{護岸等構造物の総費用}) \cdot 0.1 / (1+0.04)^{50}$		

大規模事業再評価の概要

千厩川（中流）広域河川改修事業

令和5年6月9日

岩手県県土整備部河川課

事業概要

位置図



事業内容

千厩川（中流）広域河川改修事業
（一関市）

事業延長 2, 130 m

総事業費 **7,047.8 百万円**

（前回評価時 4,160.1 百万円）

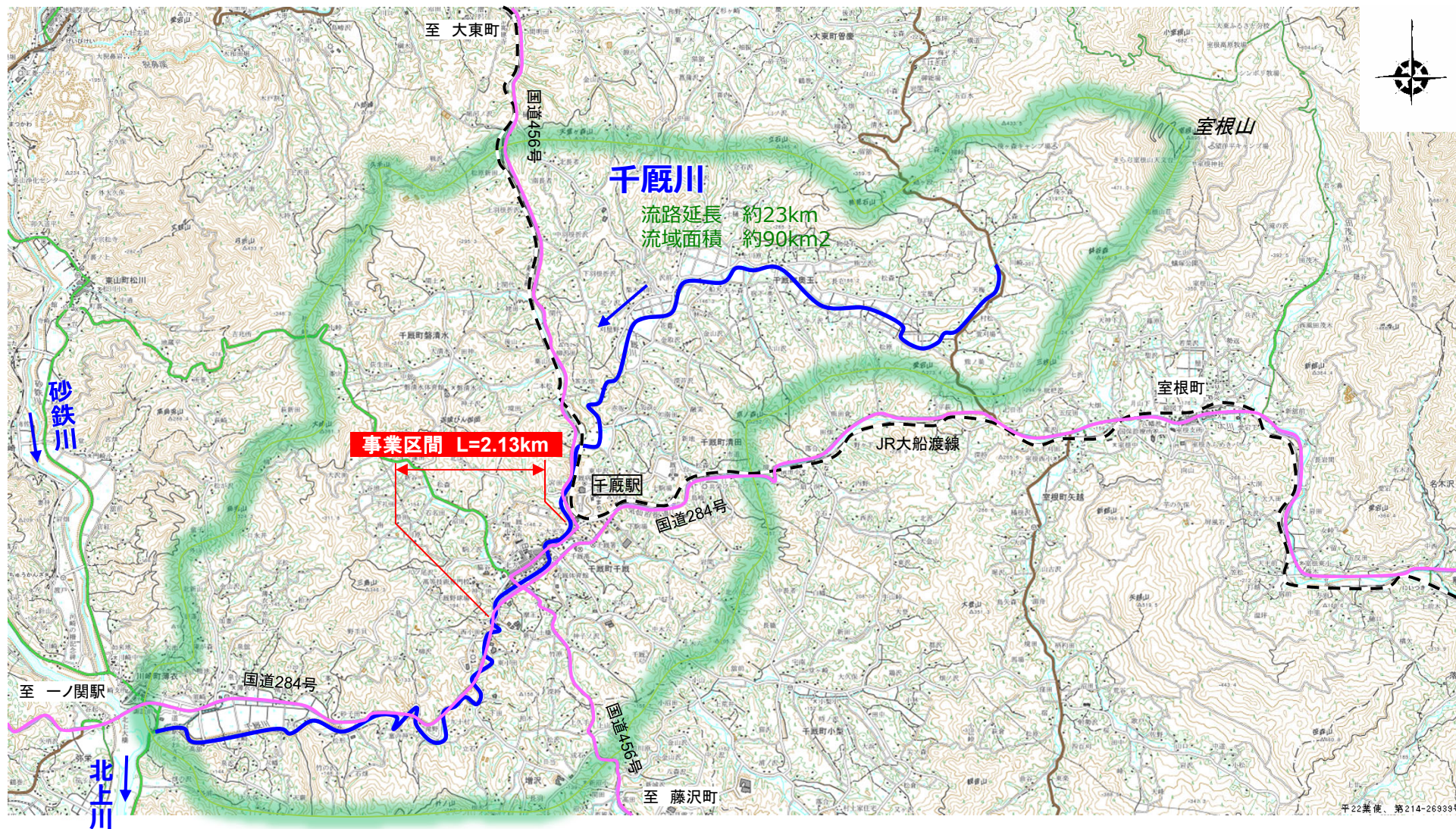
事業期間 **昭和43年度～令和22年度**

（前回評価時：～令和4年度）

治水安全度 1 / 30

事業概要

流域の概要



洪水被害の状況

洪水被害の状況



【写真① 千厩川出水状況（H14年7月台風6号）】



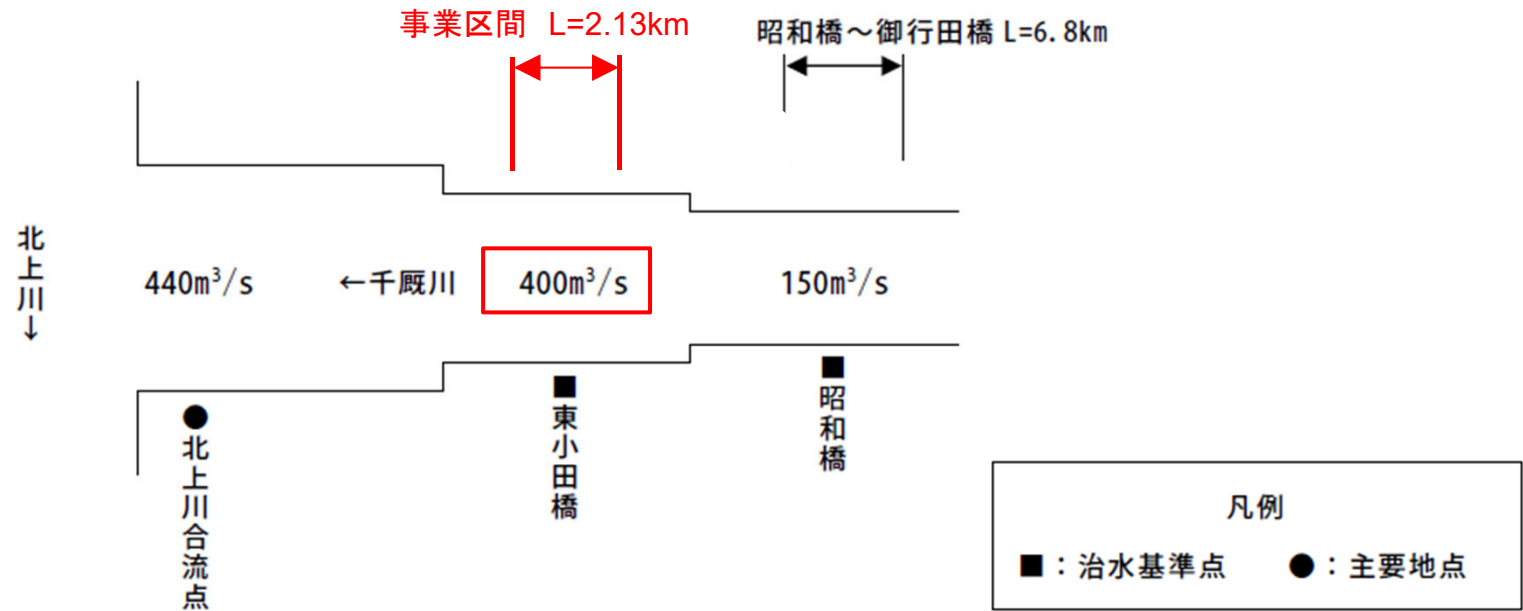
【写真② 千厩川出水状況（H14年7月台風6号）】

■千厩川の浸水被害状況

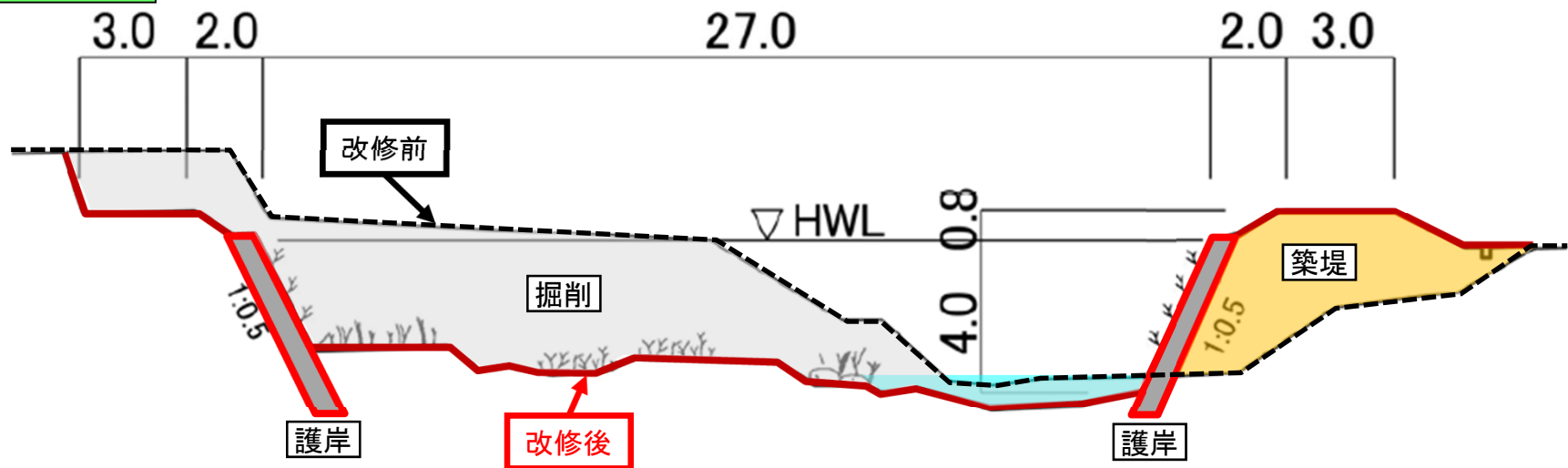
出水年月日	河川	市町村	浸水戸数(戸)		
			床上	床下	計
H14.7	千厩川	千厩町	55	87	142

事業概要

流量配分図



河川改修断面



事業の進捗状況等

平面図

全体計画延長 L=2,130m



凡例 1

- R4まで実施済み
- R5年度実施予定
- R6以降実施予定

凡例 2

浸水区域

被災年月 H14. 7
 浸水家屋 床上55戸
 床下87戸

事業の進捗状況等



【写真①】 梅田橋下流



【写真②】 久伝橋下流



【写真③】 白山橋上流



【写真④】 四日町橋上流（未着手）

(1) 事業の進捗状況 (中項目評価)

○未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し

①理由

工事区間において**硬岩の出現**により河道掘削に要する時間と費用が増加している。

②解決の見通し

掘削工法の変更により掘削を進めることは可能である。

③解決に至るまでの対応及び期間

事業の進捗が図られるまでの間、**リアルタイムの水位情報の公開**、ホットラインによる**市町村への水位情報の伝達**のほか、想定しうる最大規模の**洪水浸水想定区域図**を公表するなど、**ソフト施策**による取組を図っている。



硬岩の出現状況



硬岩の掘削状況(ビッガー工法)

・硬岩の出現による日当たり施工量の低下や費用の増大など、事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間を要することにより解決できる見込みであることから「b」とした。

「事業計画の進捗状況」の中項目評価

a ・ **b** ・ c

事業の進捗状況等

(2) 事業計画の変更の有無及び内容 (中項目評価)

- 施工区間や主要な工事内容の変更はなし。
- 事業完了年度：令和4年度 ⇒ 令和22年度に延伸
- 事業費：4,160.1百万円 ⇒ 7,047.8百万円



• 変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間及び事業費に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。

「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価

a ・ b ・ c

事業の進捗状況等(大項目評価)

- 中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした

「社会経済情勢等の変化」の大項目評価

AA ・ A ・ BB ・ B ・ C

社会経済情勢等の変化

(1) 事業に関する社会経済情勢 (中項目評価)

・本事業のあり方についての議論や見直しの検討なし ⇒「a」とした

「事業計画に関する社会経済情勢」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

(2) 事業に関する評価指標の推移(中項目評価)

・各評価指標の評点の合計が、前回評価時の90%以上 ⇒「a」とした

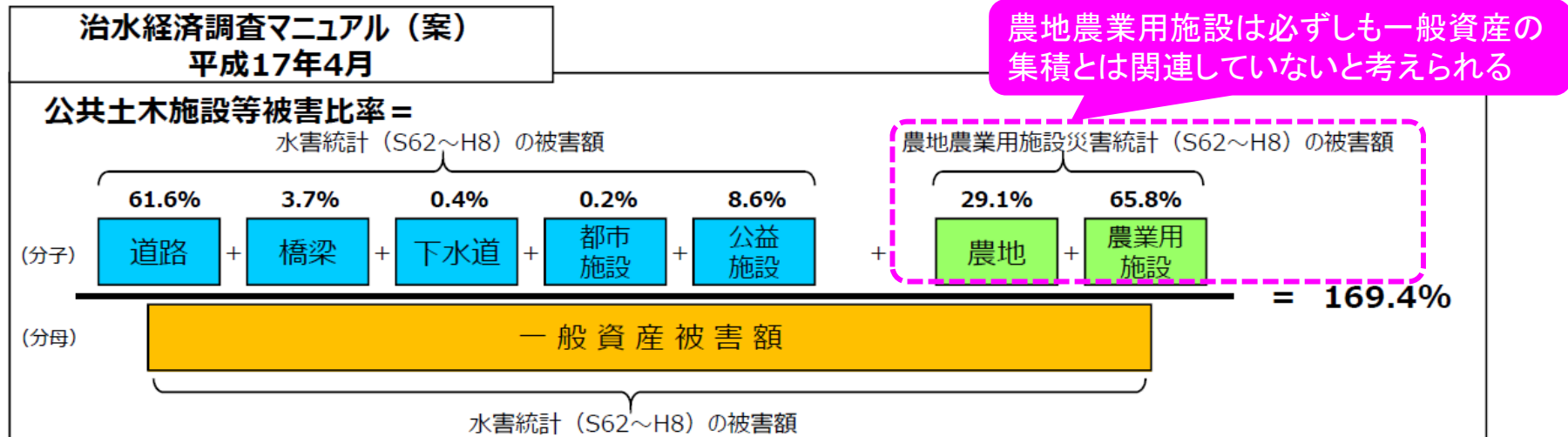
評価指標	配点	事業着手時 評点	前回再評価 時評点(A)	今回再評価 時評点(B)	増減 (B)-(A)	備考	
必要性	想定氾濫被害額、防護人口、 公共施設・弱者施設、輸送施設	30点	25点	29点	28点	-1点	※1
重要性	総合計画上の位置付け	5点	5点	5点	5点		
緊急性	過去10年間の水害被害実績、回数 他事業関連の有無、流下能力比	15点	6点	7点	7点		
効率性	費用便益比 (B/C)	40点	40点	40点	40点		前回 B/C : 45.9 今回 B/C : 25.0
熟度	地元要望、地元協力	10点	10点	10点	10点		
計		100点	86点	91点	90点	-1点	今回評価/前回評価 99%

※1 「防護人口」の見直し -1点

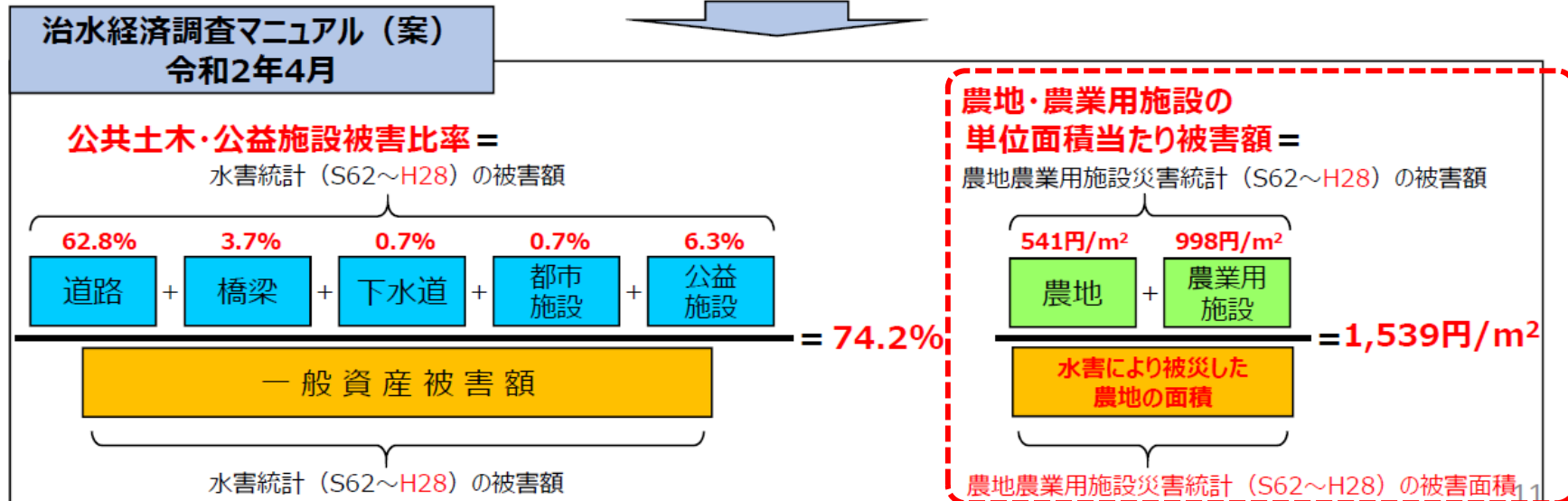
「事業計画に関する評価指標の推移」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

治水経済調査マニュアル（案）の改訂内容

（参考）公共土木施設等被害の算出方法



施設ごとに一般資産被害額に対する比率を設定し各施設の被害額を算定



農地等の面積に単位面積当たり被害額を乗じて算出

社会経済情勢等の変化

B / Cの補足事項

(百万円)

区 分		事業着手時 (S43年度)	前回評価時 (H30年度)	今回評価時 (R5年度)	備考
費用項目	①建設費	97	10,684	17,326	※1
	②維持管理費	7	1,038	1,695	※1
	③総費用(C)	104	11,722	19,021	
便益項目	④被害額の便益	1,798	537,765	474,852	※2
	⑤残存価値	0	12	39	※3
	⑥総便益(B) ④+⑤	1,798	537,777	474,891	
費用便益比(B/C) ⑥/③		17.4	45.9	25.0	

※1 「建設費」及び「維持管理費」の増は、全体事業費の増と基準年の変更による現在価値化による。

※2 「被害額の便益」の増は、治水経済調査マニュアル（案）（令和2年4月）に基づき算出した結果による。

※3 「残存価値」の増は、整備期間の延長及び現在価値化による。

社会経済情勢等の変化

(3) 自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 「D」
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 「なし」
- ・希少野生動植物生息の有無 「なし」
- ・希少野生動植物調査検討委員会への付議 「付議あり」 ※意見無し
- ・白山橋より上流については、石垣や樹木等により良好な景観が形成されている区間であることから、工事着手前に検討会に諮り、これらの既存の景観と調和するよう、護岸に石材を選定することとしている。また、石積護岸とすることにより、生物の生息環境の保全・創出が期待できる。

自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・自然環境保全指針に沿って積極的な対応を検討していることから「a」とした

「自然環境等の状況及び環境配慮事項」の中項目評価 (a) ・ b ・ c

社会経済情勢等の変化(大項目評価)

- ・中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「AA」とした

「社会経済情勢等の変化」の大項目評価 (AA) ・ A ・ B ・ C

コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

(1) コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

- 土砂については、近傍で実施中の経営体育成基盤整備事業(一関市千厩町奥玉地内)へ流用することによる運搬費及び処分費の低減を検討している。

※発生土を他事業へ流用することによる縮減額 約12百万円
(残土運搬費及び敷均し作業費の縮減)

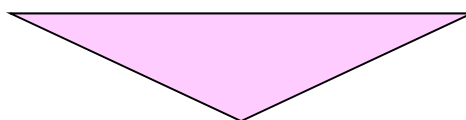
(2) 代替案立案の可能性

- 遊水地、ダム建設、放水路等との組合せによる手法が考えられるが、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響、経済性を総合的に勘案し、河川改修による治水対策が妥当とした。
- 現時点で、技術革新や社会経済情勢の大きな変化がないことから、代替案立案の可能性はない。

総合評価

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資 事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		
						進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C
S43	R22	7,047.8	4,024.5	57.1	BB	b	b	AA	a	a	a	90	25.0

- 「事業の進捗状況等」については、事業期間や事業費を変更するものの、事業計画に大幅な変更はなく、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。
- 「社会情勢等の変化」については、「事業に関する社会情勢」及び「自然環境との状況」に関して大きな変化はないところ。また、「事業に関する評価指標の推移」において、必要性の指標が減少しているが、過去に大規模な洪水被害を受けていること、地元の要望、協力があるなど熟度が高いことから、沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。
- 事業進捗状況の評価が「BB」、社会経済情勢の評価が「AA」。



事業継続